

単元デザイン FIRST STEP —小学校社会科—

1 単元デザインは何のため?

- 学習指導要領では、資質・能力を育成するため、単元や題材などの内容や時間のまとまりの中で「主体的・対話的で深い学び」を実現することが大切だと示されています。
- 「指導と評価の一体化」の観点から、単元の指導と評価の計画を作成することが求められています。
- 教師が児童に身に付けさせたい資質・能力を明確にし、意図的・計画的に授業づくりを行うことができます。
- 児童が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができます。



2 単元をデザインする際のポイント

単元をデザインする際のポイントを押さえているか□に✓を付けて確認しましょう。

① 単元を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にし、単元の目標を設定します。

- 学習指導要領の目標や内容、小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説 社会編(以下、学習指導要領解説)を踏まえている。
- 児童の実態や前単元までの学習状況を踏まえている。

② 単元の評価規準を作成します。

- 国立教育政策研究所『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』(以下、「参考資料」)の巻末資料(p.77~)に示された「内容のまとまりごとの評価規準(例)」を参考にして、学習指導要領に示されている「内容」の記述形式を基に作成している。

③ 問題解決的な学習過程で単元をデザインし、指導と評価の計画を作成します。

- 「課題把握→課題追究→課題解決」の流れで単元をデザインし、各時間の評価を行う観点及び評価する方法を決めている。
- 単元の指導と評価の計画に、「指導に生かす評価」と「記録に残す評価」の場面を設定している。

④ 児童が興味をもつように教材を工夫し、学習問題につながる資料を準備して、単元の学習問題を設定します。

- 学習指導要領の内容を踏まえた上で、児童が興味をもつように身近なことを題材に挙げ、児童と学習内容を結び付ける教材の工夫をしている。
- 具体的な事実から気付きや疑問が生まれ、学習問題の設定につながる資料を準備している。
- 目標を踏まえた単元の学習のまとめを想定して、単元の学習問題をつくっている。

⑤ 目標の実現に迫るための毎時間の学習活動を構想します。

- 何のために「調べる」「話し合う」「まとめる」のかを明確にして、毎時間の学習活動を構想している。

上記の5つのポイントには、順番の決まりはありません。
相互に関連付けながら、行ったり来たりして単元をデザインしていきます。
上記のポイントを踏まえた、単元デザインの具体(例)を次に示します。



単元デザインの具体(第5学年「自動車工業のさかんな地域」の単元を例に)

① 単元を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にし、単元の目標を設定します。

学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説と照らし合わせながら、児童の実態や前単元までの学習状況を踏まえ、単元を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にして、単元の目標を設定します。

【具体例】「自動車工業のさかんな地域」の単元

学習指導要領解説の内容(第5学年)

- (3) ア(イ) 工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解すること。
- (イ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。
- イ(イ) 製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

学習指導要領解説 p.82

単元の目標

我が国の工業生産について、製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、図や文などにまとめ、工業生産に関わる人々の働きを考え、表現することを通して、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、社会の一員として、これからの工業の発展について考えようとする態度を養う。

② 単元の評価規準を作成します。

「参考資料」の巻末資料(p.77~)に示された「内容のまとまりごとの評価規準(例)」を参考にして、学習指導要領に示されている「内容」の記述形式を基に作成します。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などについて、地図帳や各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、工業生産に関わる人々の工夫や努力を理解している。	①製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、問いを見だし、工業生産に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。	①我が国の工業生産について学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
②調べたことを図や文などにまとめ、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解している。	②工業生産と国民生活を関連付けて、工業生産が国民生活に果たす役割や工業生産に関わる人々の働きを考えたり、学習したことを基に消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの工業の発展について自分の考えをまとめたりして、適切に表現している。	②「社会的な態度」の評価規準は、次の小単元で設定します。

詳細は、佐賀県教育センターHP「[学習評価の進め方](#)」及び「[学習評価 FIRST STEP](#)」を御参照ください。

③ 問題解決的な学習過程で単元をデザインし、指導と評価の計画を作成します。

「課題把握→課題追究→課題解決」の流れで単元をデザインし、各時間の評価を行う観点及び評価する方法を決め、**〔指導に生かす評価〕**と**〔記録に残す評価〕**の場面を計画します。

指導と評価の計画(例)

問題解決的な学習過程(課題把握→課題追究→課題解決)で単元をデザインして、単元の評価規準を指導計画の中に位置付けていきましょう。

問題解決的な学習過程で単元をデザインする際のポイント	時間	ねらい	○主な学習活動・内容	評価の重点	評価方法と【評価規準】
<p>① 児童の気付きや疑問を基に、単元の学習問題を設定します。</p> <p>② 単元の学習問題に対する児童の予想を基に学習計画を立て、課題解決の見通しをもたせます。</p>	1 (本時)	中京工業地帯で盛んな自動車工業について学習問題をつくり、学習計画を立てることができるようにする。	○地図やグラフ、写真などを基に話し合い、学習問題をつくる。 ・工業生産額、工業の種類 ・身近な生活にある自動車 ○学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立てる。	指導 発言内容から「製造工程や工場相互の協力関係、優れた技術に着目して問いを見いだしているか」を評価する。【思-①】 記録 ノートの記述内容や発言内容から「学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。【態-①】	発言内容から「製造工程や工場相互の協力関係、優れた技術に着目して問いを見いだしているか」を評価する。【思-①】 ノートの記述内容や発言内容から「学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。【態-①】
<p>③ 毎時間の学習課題を追究していくための、調べる活動を設定します。</p> <p>④ 調べた事実を基に、複数の立場や視点で多角的に考えさせるため、話し合う活動を設定します。</p>	2	自動車工場の全景や内部の様子を調べることを通して、自動車工場の立地や広さ、製造工程を理解できるようにする。	○自動車工場の全景を見ての気付きや疑問を出し合う。 ・工場の広さ、数 ・従業員数 ○自動車の製造工程について調べる。 ・使用する機械	指導 ノートの記述内容や発言内容から「自動車工場は広い土地で幾つかの工場に分かれていることや、製造工程では様々な作業があることを理解しているか」を評価する。【知-①】	ノートの記述内容や発言内容から「自動車工場は広い土地で幾つかの工場に分かれていることや、製造工程では様々な作業があることを理解しているか」を評価する。【知-①】
<p>⑤ 単元の学習問題を振り返り、調べたことや考えたことをまとめる活動を設定します。</p> <p>⑥ 学習したことを振り返ったり、新たな学習問題について考えたりする場面を設定します。</p>	8	前時までに調べたことを図や文にまとめ、学習問題について話し合うことを通して、工業生産に関わる人々の工夫や努力、優れた技術の開発によって行われていることを理解できるようにする。	○学習したことを基に、消費者、工業生産に関わる人々の工夫や努力、優れた技術の開発との関連について話し合う。 ・製造の工夫 ・自動車工場と関連工場のつながり ・安全性や環境の重視 ○図や文にまとめ、学習問題について話し合い、考えをまとめる。 ・工業生産に関わる人々の工夫や努力 ・消費者の願い	記録 関連図の内容から、「学習したことを基に、工業の仕組み、工夫や努力について考えたことを説明しているか」を評価する。【思-②】 記録 ノートの記述内容から「図や文にまとめ、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解しているか」を評価する。【知-②】	関連図の内容から、「学習したことを基に、工業の仕組み、工夫や努力について考えたことを説明しているか」を評価する。【思-②】 ノートの記述内容から「図や文にまとめ、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解しているか」を評価する。【知-②】

この単元では、【知識・技能】の記録に残す評価は、事後のペーパーテストにて行います。

表中の「評価方法と【評価規準】」の詳細は、佐賀県教育センターHP「[学習評価の進め方](#)」及び「[学習評価 FIRST STEP](#)」を御参照ください。

④ 児童が興味をもつように教材を工夫し、学習問題につながる資料を準備して、単元の学習問題を設定します。

学習指導要領の内容を踏まえた上で、児童が興味をもつように身近なことを題材に挙げ、児童と学習内容を結び付ける教材の工夫をし、具体的な事実から気付きや疑問が生まれ、学習問題の設定につながる資料を準備します。目標を踏まえた単元の学習のまとめを想定して、単元の学習問題をつくります。

これらの資料を提示すると、学習問題につながると思うよ!

中京工業地帯では、どのような工業が盛んなのだろうか?

自動車保有台数は年々増えているね。どうしてだろう?

道路には、どのような種類の自動車が行っているのかな?

資料は、教科書や関係機関のホームページに掲載されているものを使ったり、実際に現地や関係機関に取材に行って収集したりして準備します。

児童の気付きや疑問を取り上げながら

単元の学習問題 「 ? 」 学習問題の設定を!

単元の学習のまとめを想定して

単元の学習のまとめ 「工業生産に関わる人々は、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えている。」

単元の終末に、このような学習のまとめをするなら・・・

単元の学習問題は 「わたしたちの暮らしにかかせない自動車は、人々のどのような工夫や努力によってつくられているのだろうか。」 に設定しよう。

⑤ 目標の実現に迫るための毎時間の学習活動を構想します。

何のために「調べる」「話し合う」「まとめる」のかを明確にして、毎時間の学習活動を構想します。

学習問題を設定したら、**目的を明確にした児童の学習活動を構想**します。

調べる: 学習問題の解決に必要な情報を集めるために、観察や見学、聞き取りなどの調査活動・地図帳や地球儀、統計や年表などの基礎的資料などで調べる活動を設定します。

・製造の工程について調べる。 ・協力関係について調べる。
 ・優れた技術について調べる。 など・・・

話し合う: 複数の立場から多角的に考えたり、これからの社会について考えたり選択・判断したりするために、児童同士・教師と児童・ゲストティーチャーなどの外部の人・歴史上の人物や先人との対話的な活動(論理的な説明・立場や根拠を明確にした議論など)を設定します。

・生産者、消費者、それぞれの立場でこれからの自動車づくりに求められることについて説明する。 など・・・

まとめる: 児童がなぜその方法でまとめるのかという目的や必然性を意識して、学習したことについての理解や思考を整理するために、調べたこと・分かったこと・考えたことなどを文章・白地図・年表・図表などにまとめる活動を設定します。

・学んだことを振り返り、複数の立場で工業生産に関わる人々の工夫や努力について考えたことを文章にまとめる。 など・・・

小学校第5学年 社会科学習指導案

1 単元名「自動車工業のさかんな地域」

2 単元について

(1) 単元観

小学校学習指導要領(平成29年告示)解説社会編の第5学年の目標には、我が国の産業の現状について、「国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けること」「社会的事象の意味を多角的に考える力を養うこと」などが示されている。これを受けて本単元では、日本を代表する工業地帯である中京工業地帯で盛んな機械工業を取り上げる。その際、製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、各種の資料で調べ、まとめることを通して、工業生産に関わる人々の工夫や努力、働きについて考えたことを表現する。そのような活動を通して、工業生産に関わる人々は、様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解できるようにする。

(2) 児童観

(略)

(3) 指導観

指導に当たっては、児童が工業生産に関わる人々が、様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解できるようにするために、日本を代表する工業地帯である中京工業地帯で盛んな機械工業を取り上げる。その中で、児童が製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、各種の資料で調べ、まとめることを通して、工業生産に関わる人々の工夫や努力、働きについて考え、表現できるようにする。

課題把握場面(第1時)では、中京工業地帯の主な工業の種類や工業生産額が分かる資料や、自動車の保有台数が増加してきている様子が分かる資料を読み取る活動から生まれた児童の気付きや疑問を基に学習問題を設定する。また、学習計画を立てる際には、既習事項である農業や水産業の学習を基に、製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して考えるように助言することで、児童が課題解決の見通しをもてるようにする。

課題追究場面(第2～7時)では、学習計画を基に、各種資料を読み取る活動や話し合う活動を通して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を理解できるようにする。その際、児童が調べたことを基に自分の考えをもつことができるよう、根拠となる資料を明確にしてまとめることを意識できるようにする。また、生産者だけでなく、消費者や環境への配慮など児童が多角的な視点で捉えることができるために既習事項を基にしながら学習を進める。

課題解決場面(第8時)では、課題追及場面で児童が調べたことを基に、学習問題について分かったことや考えたことを総合したり関連付けたりしながら図や文でまとめるようにする。それらの活動を通して、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解できるようにする。

3 単元の目標

我が国の工業生産について、製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、図や文などにまとめ、工業生産に関わる人々の働きを考え、表現することを通して、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、社会の一員として、これからの工業の発展について考えようとする態度を養う。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などについて、地図帳や各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、工業生産に関わる人々の工夫や努力を理解している。</p> <p>②調べたことを図や文などにまとめ、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解している。</p>	<p>①製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、問いを見いだし、工業生産に関わる人々の工夫や努力について考え表現している。</p> <p>②工業生産と国民生活を関連付けて、工業生産が国民生活に果たす役割や工業生産に関わる人々の働きを考えたり、学習したことを基に消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの工業の発展について自分の考えをまとめたりして、適切に表現している。</p>	<p>①我が国の工業生産について学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>②「社会的な態度」の評価規準は、次の小単元で設定します。</p> </div>

5 単元の指導と評価の計画（全8時間）

時間	ねらい	○主な学習活動・内容	評価の重点	評価方法と【評価規準】
1 (本時)	<p>中京工業地帯で盛んな自動車工業について学習問題をつくり、学習計画を立てることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>わたしたちの暮らしにかかせない自動車は、人々のどのような工夫や努力によってつくられているのだろうか。</p> </div>	<p>○地図やグラフ、写真などを基に話し合い、学習問題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業生産額、工業の種類 ・身近な生活にある自動車 <p>○学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立てる。</p>	<p>指導</p> <p>記録</p>	<p>発言内容から「製造工程や工場相互の協力関係、優れた技術に着目して問いを見いだししているか」を評価する。 【思-①】</p> <p>ノートの記述内容や発言内容から「学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。 【態-①】</p>
2	<p>自動車工場の全景や内部の様子を調べることを通して、自動車工場の立地や広さ、製造工程を理解できるようにする。</p>	<p>○自動車工場の全景を見ての気付きや疑問を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場の広さ、数 ・従業員数 <p>○自動車の製造工程について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用する機械 	<p>指導</p>	<p>ノートの記述内容や発言内容から「自動車工場は広い土地で幾つかの工場に分かれていることや、製造工程では様々な作業があることを理解しているか」を評価する。 【知-①】</p>
3	<p>働く人たちの様子を調べることを通して、作業内容や職場環境を工夫したり改善したりしていることを理解できるようにする。</p>	<p>○働く人たちの話し合う様子や作業の様子について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善策の提案 ・2交代制での勤務 ・ロボットの活用 	<p>指導</p>	<p>ノートの記述内容や発言内容から「働く人たちが効率的に生産するために作業内容を見直したり、働きやすい職場環境をつくったりしていることを理解しているか」を評価する。 【知-①】</p>
4	<p>関連工場の様子を調べることを通して、自動車工場と関連工場の結び付きについて考え、表現できるようにする。</p>	<p>○関連工場で働く人の様子について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャスト・イン・タイム <p>○自動車工場と関連工場の結び付きについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立地条件 	<p>指導</p>	<p>ノートの記述内容や発言内容から「これまでに学んだ自動車の製造工程や関連工場の様子を根拠に、自動車工場と関連工場の結び付きを考え、表現しているか」を評価する。 【思-①】</p>

5	<p>自動車の輸送方法や自動車会社の海外工場を調べることを通して、自動車が消費者に届くまでの過程を理解できるようにする。</p>	<p>○自動車が消費者に届くまでの過程について調べる。 ・輸送方法 ○自動車会社の海外工場での現地生産台数が増えてきた理由について調べる。 ・貿易摩擦 ・費用削減</p>	<p>指導</p> <p>指導</p>	<p>ノートの記述内容や発言内容から「自動車の輸送方法や自動車会社の海外工場での現地生産や現地販売が増えてきたことを理解しているか」を評価する。【知-①】</p> <p>ノートの記述内容や発言内容から「これまでの学習を振り返り、更に調べるべきことを考え学習の見通しをもっているか」を評価する。【態-①】</p>
6	<p>自動車の開発や消費者の意見を調べることを通して、これからの自動車には安全性や人への配慮が求められていることを理解できるようにする。</p>	<p>○安全性を考えた自動車の開発について調べる。 ・事故時の安全性 ・事故を防ぐ機能や装置 ○消費者の需要に対応した自動車の開発について調べる。 ・さまざまな人に優しい自動車 ・自動運転技術</p>	<p>指導</p>	<p>ノートの記述内容や発言内容から「安全な自動車の研究・開発が行われていることや、消費者の需要に対応した自動車の開発が行われていることを理解しているか」を評価する。【知-①】</p>
7	<p>自動車の開発やリサイクルの様子を調べることを通して、環境に優しい自動車づくりが行われていることを理解できるようにする。</p>	<p>○排出ガスの量をおさえた自動車の開発について調べる。 ・ハイブリッドカー ・電気自動車 ○資源を大切にしたい自動車の開発について調べる。 ・部品リサイクル</p>	<p>指導</p>	<p>ノートの記述内容や発言内容から「ハイブリッドカーの発売や自動車のリサイクルなど、環境に優しい自動車の開発が行われていることを理解しているか」を評価する。【知-①】</p>
8	<p>前時までに調べたことを図や文にまとめ、学習問題について話し合うことを通して、工業生産に関わる人々の工夫や努力、優れた技術の開発によって行われていることを理解できるようにする。</p>	<p>○学習したことを基に、消費者、工業生産に関わる人々の工夫や努力、優れた技術の開発との関連について話し合う。 ・製造の工夫 ・自動車工場と関連工場のつながり ・安全性や環境の重視 ○図や文にまとめ、学習問題について話し合い、考えをまとめる。 ・工業生産に関わる人々の工夫や努力 ・消費者の願い</p>	<p>記録</p> <p>記録</p>	<p>関連図の内容から、「学習したことを基に、工業の仕組み、工夫や努力について考えたことを説明しているか」を評価する。【思-②】</p> <p>ノートの記述内容から「図や文にまとめ、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解しているか」を評価する。【知-②】</p>

本単元では、「知識・技能」及び「思考・判断・表現」の観点において、評価を(C)と判断した児童への指導や支援を行うことを重視し、評価規準①を「評価したことを指導に生かす(指導)」場面として設定しました。また、評価規準②は最後の評価場面における評価結果を、継続的に指導を積み重ねた結果の学習状況と捉えて重視し、「評価したことを記録に残す(記録)」場面としていずれも単元後半である8時目に設定しました。

「主体的に学習に取り組む態度」の観点においては、「内容のまとめり」ごとに長期的な視点で評価計画を立てました。1時目の評価内容は、児童が前単元の学習内容を踏まえて学習計画等を考えようとしているかを教師が見取るために、「評価したことを記録に残す(記録)」場面に設定しました。5時目の評価内容は、「評価したことを指導に生かす(指導)」場面に設定しました。「評価したことを記録に残す(記録)」場面は、児童が本単元の学習内容を踏まえて、これまでの学習を振り返り更に調べるべきことを考え学習の見通しをもっているかを教師が見取るために、次単元に設定します。

「単元の指導と評価の計画」の詳細は、佐賀県教育センターWeb「[学習評価の進め方](#)」及び「[学習評価FIRST STEP](#)」を御参照ください。

6 本時の目標

中京工業地帯の様子について整理して学習問題をつくり、学習計画を立てることができる。

7 本時の展開 (本時 1 / 8)

学習活動	教師の働き掛け(・)と評価(☆)
1 前単元の学習を振り返り、我が国の工業生産の概要に関する内容を基に、本時のめあてを立てる。	<ul style="list-style-type: none"> 前単元の学習から、我が国の「工業の種類」、「工業の盛んな地域の分布」、「工業製品の改良」などを基に、「中京工業地帯の盛んな工業や工業生産額の様子」を示した資料を提示し、本時のめあてにつなげる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ④ 中京工業地帯の様子について整理して学習問題をつくり、学習の見通しをもとう。 </div>	
2 中京工業地帯の主な工業と工業生産額が多い市町について調べ、その特色について考える。	<ul style="list-style-type: none"> 中京工業地帯にある市町の「工業の種類」や「工業生産額」、「位置や空間的な広がり」「交通網の広がり」などについて、教科書や資料集で調べ、その特色について考えることができるようにする。 調べたことを基に中京工業地帯の特色について考えたことを、グループやクラスで話し合うことで、中京工業地帯では、輸送用機械の生産が盛んであることについて共有する。
3 学習問題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> 「自動車保有台数の変遷」を示したグラフと「たくさんの自動車が走る道路」の写真を提示し、毎日の暮らしの中で多くの自動車が利用されていることを確認する。 既習事項である食料生産の学習では、それらに関わる人々が様々な工夫や努力をして食料生産を支えていたことを基にして、工業生産の場合も同様に人々の工夫や努力があるのではないだろうかという予想から学習問題につなげる。 <p>☆発言内容から、「製造工程や工場相互の協力関係、優れた技術に着目して問いを見いだしているか」を評価する。 【思-①】</p>
<p>【単元の学習問題】 わたしたちのくらしにかかせない自動車は、人々のどのような工夫や努力によってつくられているのだろうか。</p>	
4 学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項である食料生産の学習を基に、「製造の工程」「工場相互の協力関係」「優れた技術」に着目し、次時からの課題解決していく事項について見通しをもつことができるようにする。 <p>☆ノートの記述内容や発言内容から「学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。 【態-①】</p>
5 本時の学習を振り返り、次時からの学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学びや自分の考えの変容、友達と話し合う活動、これから調べていくことや調べ方などについて振り返りを行い、次時からの学習へとつなげていく。

8 本時の評価規準と判定基準

評価方法と【評価規準】	判断のポイントと指導の手立て
○発言内容から、「製造工程や工場相互の協力関係、優れた技術に着目して問いを見いだしているか」を評価する。 【思-①】	「十分満足できる」状況(A)と判断するポイント ○製造工程や工場相互の協力関係、優れた技術に着目するとともに、人々の思いや願いも考えて問いを見いだしている。 「努力を要する」状況(C)と判断される児童への指導の手立て ●資料や既習事項を基に、製造工程や工場相互の協力関係、優れた技術に着目するよう問い掛けたり、他の児童の発言内容を参考にすることができるようにしたりして、思考することを促す。
○ノートの記述内容や発言内容から、「学習問題の追究・解決に向けた学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。 【態-①】	「十分満足できる」状況(A)と判断するポイント ○学習問題の追究・解決に向けて製造工程や工場相互の協力関係、優れた技術などの複数の視点に着目して学習計画を立て、解決の見通しを具体的にもっている。 「努力を要する」状況(C)と判断される児童への指導の手立て ●既習事項である食料生産の学習を振り返ったり、友達の考えを参考にしたりすることを促す。